

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 令和6年度 第1回函館市障がい者計画策定推進委員会 |     |
| R7.2.10                   | 資料3 |

## 第6期函館市障がい福祉計画の成果目標と進捗状況

### 1 福祉施設入所者の地域生活への移行

#### (1) 地域生活移行者数

##### <第6期計画における進捗状況>

| 区 分                        | 2年度   | 3年度   | 4年度   | 5年度   | 累計    | 目 標  |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 移 行 者 数                    | 6人    | 1人    | 2人    | 2人    | 11人   | 19人  |
| 基準日(R元年度末)入<br>所者数536人との比率 | 1.12% | 0.18% | 0.37% | 0.37% | 2.05% | 3.6% |

#### (2) 減少見込入所者数

##### <第6期計画における進捗状況>

| 区 分                              | 2年度  | 3年度   | 4年度  | 5年度  | 目 標  |
|----------------------------------|------|-------|------|------|------|
| 各年度末現在の<br>全施設入所者数               | 533人 | 539人  | 536人 | 526人 | 527人 |
| 基準日(R元年度末)入<br>所者数536人からの減<br>少数 | 3人   | ▲3人   | 0人   | 10人  | 9人   |
| 比 率                              | 0.6% | ▲0.6% | 0.0% | 1.9% | 1.6% |

## 2 福祉施設から一般就労への移行

### (1) 一般就労移行者数

＜第6期計画における進捗状況＞

| 区 分                       | 2年度  | 3年度  | 4年度  | 5年度  | 目 標   |
|---------------------------|------|------|------|------|-------|
| 年間一般就労移行者数                | 39人  | 56人  | 60人  | 60人  | 72人   |
| 6期基準年度(R元年度)<br>実績57人との倍率 | 0.7倍 | 1.0倍 | 1.1倍 | 1.1倍 | 1.27倍 |

### (2) 就労定着支援事業の利用者の割合

＜第6期計画における進捗状況＞

| 区 分             | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 目 標 |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 就労定着支援事業利用者数    | 6人  | 7人  | 7人  | 5人  | 50人 |
| 就労定着支援事業の利用者の割合 | 2割  | 1割  | 1割  | 1割  | 7割  |

### (3) 就労定着率が8割以上である就労定着支援事業所の割合

＜第6期計画における進捗状況＞

| 区 分                       | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 目 標 |
|---------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 就労定着支援事業所数                | 2か所 | 2か所 | 2か所 | 3か所 |
| 就労定着率が8割以上の<br>就労定着支援事業所数 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | 2か所 |
| 割合                        | 5割  | 5割  | 5割  | 7割  |

※就労定着率：過去3年間の就労定着支援の総利用者数のうち前年度末時点の  
就労定着者数の割合

### 3 障がい児支援の提供体制の整備

目 標：北海道が実施する医療的ケア児等コーディネーター養成研修の修了者の増員を図ります。

進捗状況：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度以降研修会の実施を一時中止していたが、令和4年度から実施されたことから、引き続き相談支援専門員への周知および制度の趣旨を理解し受講の検討を促していく。

### 4 相談支援体制の充実・強化

目 標：「函館市障がい児・者あんしんネットワーク」の機能を充実させるとともに、評価基準を作成し、函館地域障害者自立支援協議会において、運用状況の検証および検討を行う。

令和4年度から、市内10か所の福祉拠点を整備することにより、相談支援体制の充実・強化につなげる。

進捗状況：「函館市障がい児・者あんしんネットワーク」については、運用状況を函館地域障害者自立支援協議会にて報告するほか、令和5年度末から連絡会議を開催し、評価基準の作成や機能の充実に向けて検討している。また、令和4年4月より、市内10か所の函館市地域包括支援センターを多機能化し、新たな福祉拠点を整備した。

### 5 障がい福祉サービス等の質を向上させるための取組の実施

目 標：障がい福祉サービス等に係る各種研修を活用し、事業所職員等の技術力の向上を図るほか、指定障がい福祉サービス事業者および指定障がい児通所支援事業者等に対する指導監査の適正な実施およびその成果を関係者間で共有します。

進捗状況：函館地域障害者自立支援協議会の専門部会ごとにテーマを設け各種研修会を実施するほか、事業所の要請により市職員による出前講座を実施した。事業所に対する指導監査については、適正に実施し、関係機関で共有している。